

広報くろさき

第79号

発行所 黒埼町役場
印刷所 共立印刷機

〈町の動き〉

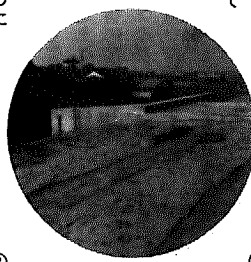
8月末現在	(前月比)
人口 18,678	(+ 49)
男 9,158	(+ 26)
女 9,520	(+ 23)
世帯 4,495	(+ 16)
7月1日～末日	
死亡 10	
出生 33	
婚姻 16	

明確な回答得られず

速路
高道公事で公団と懇談会

議会高速道路対策特別委員会では、七月三十日に行った町内三地区の公害調査結果をまとめ、去る八月十一日、議場で公団から三氏を招き、議会特別委員、役場側からは町長、関係課長、職員らが出席して懇談会が開かれ、席上、委員などから鋭い質問が出されたが明確な回答は得られずじまいで終了した。

町長のあいさつに続いて、各委員から質問や要望がのべられ、最初に木場地区のボックス(トンネル)の沈下について設計の不備を指摘したが、これに対し公団は土木技術に100%確実ということはないと言われ、工事公害の被害に対し早急に策を講ずるよう迫ったのに対し、これも我々では回答できかねるので検討させてほしいというだけで、住民の待っている言葉は聞かれない。農地の隆起、陥没などの被害補償は?に對し、現状どおりに復旧し、事業



工事完成後懸念される諸問題の生なものである。①善久、寺地街路予定線のボックス建設は ②防音壁の設置を ③搬気ガスによる人家への影響 ④植樹の問題 ⑤救急対策 ⑥インターチェンジの名称などはどうなるかなど、これに対し公団は ①について県の道路維持管理課と計画をたつめ進めたい。 ②現在、局で検討中である。③は交通量が多くなり、また、空气中に拡散するため被害は出ないと思う。④豪雪地帯であるため現在研究中である。⑤各市町村にお願いする予定である。⑥現段階では仮称であり、まだ決定していない等、住民をほんとうに安心させる回答は最後まで得られなかった。これについて委員会は今後とも機会あるたびに公団と懇談会を開き、住民サイドに立った活動を続けて行きたいとし、午後五時散会した。

たわねに実った
稲田ではあつちにも
こつちにも、コンバインの
音が高らかに
響いている。

秋たけなわ

